

1 2 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための、廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠
廃棄物等の排出量予測

廃棄物種別	S：店舗面積 (千㎡)		指 針 原単位	A： 一日当たり 廃棄物排出量 (t)	B： 平均保 管日数 (日)	C： 見かけ 比 重 (t/m ³)	D： 排出予測量 A×B÷C (m ³)
紙製廃棄物等	6千㎡以下	1.434千㎡	0.208	0.298272 t	1日	0.10	2.98m ³
金属製廃棄物等	6千㎡以下	1.434千㎡	0.007	0.010038 t	1日	0.10	0.10m ³
ガラス製廃棄物等	6千㎡以下	1.434千㎡	0.006	0.008604 t	1日	0.10	0.09m ³
プラスチック製 廃棄物等	6千㎡以下	1.434千㎡	0.020	0.028680 t	1日	0.01	2.87m ³
生ゴミ等	6千㎡以下	1.434千㎡	0.169	0.242346 t	1日	0.55	0.44m ³
その他の可燃性 廃棄物等		1.434千㎡	0.054	0.077436 t	1日	0.38	0.20m ³
合 計							6.68m ³

○廃棄物の種類ごとの排出量予測結果

廃棄物種別	D 小売業からの廃棄物等 排出量予測 (m ³)	※E 小売業以外の施設から の廃棄物等排出量予測 (m ³)	F 大規模小売店舗全体の 廃棄物保管容量予測 (D +E) (m ³)	G 大規模小売店舗に設置 される廃棄物等保管容 量 (m ³)
紙製廃棄物等	2.98m ³	0m ³	2.98m ³	6.24m ³
金属製廃棄物等	0.10m ³	0m ³	0.10m ³	
ガラス製廃棄物等	0.09m ³	0m ³	0.09m ³	
プラスチック製廃棄物等	2.87m ³	0m ³	2.87m ³	
生ゴミ等	0.44m ³	0m ³	0.44m ³	0.72m ³
その他の可燃性廃棄物等	0.20m ³	0m ³	0.20m ³	
合 計	6.68m ³	0m ³	6.68m ³	6.96m ³

※E小売業以外の施設からの廃棄物等排出量予測
該当なし

その他指針で規定する配慮すべき事項について

1 歩行者の通行の利便の確保等について

項 目	具 体 的 な 内 容
歩行者通路確保のための対策	・来店車両が多く見込まれるオープン時や繁忙期には、出入口付近に交通整理員を配置し、横断歩行者の安全を確保する。 - 別添「資料－6 動線計画図 (p. 26)」参照 ・駐車場出入口付近には、交通事故発生の防止及び横断歩行者の安全確保のため、原則として見通しを妨げる構造物は設置しない。
夜間照明等の設置の有無	有 位置：別添「資料－6 動線計画図 (p. 26)」参照
その他	・駐車場出入口には、停止線と「止まれ」の路面表示を行うことで、帰宅車両の一旦停止を促し、横断歩行者の安全を確保する。 ・荷さばき車両の入庫時において、来店者と出入口が共用である旨を周知し、入出庫時の安全運転を徹底させる。 ・荷さばき車両を入庫させる際には、歩行者及び来店車両との場内交錯を避けるべく、従業員にて安全に誘導を行い、事故の発生防止に努める。 ・商品等の搬出入は、朝・夕の交通量の多い時間帯や来店車両の多い時間帯を極力避けた搬出入計画を立て、待機車両が発生しないよう配慮する。

2 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

予定及び概要	・商品梱包用段ボールや空き缶などは廃棄物と混在しないよう分別保管し、業者に依頼して再資源化を図る。 ・過剰包装、梱包の抑制による廃棄物の低減化を図る。
周辺住民への周知方法	・地元説明会にて周知を図る。

3 防災・防犯対策への協力について

・防災対策への協力

防災協定等締結の有無	締 結 協 定 の 内 容
有・ <u>無</u> (締結先：)	・災害時の避難場所として駐車場等敷地の一部の使用、若しくは、店舗で扱っている物資の緊急時の提供について、行政より要請があれば検討し、協力する。

・防犯対策への協力

概 要
・地元警察と連携し、店舗及び店舗周辺での事件発生時における警察への通報要領及び避難誘導措置など緊急通報体制を確立し、地域の防犯対策に努める。 ・駐車場内には、適切に照明設備を配置することで死角を排除し、青少年のたまり場とならないよう配慮する。 ・従業員による店内及び駐車場内の巡回や声かけ等により、青少年の蟄集を防止する。 ・店舗内における犯罪や少年非行防止の観点から、見通しを確保した商品陳列、店舗内外へ向け設置した防犯カメラなど、万引き防止等の防犯対策を講じる。

4 騒音問題への対応策について

(1) 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項 目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の騒音対策	・荷さばき施設は、十分な作業スペースを確保し、計画的な搬出入を行うことで作業時間の短縮に努める。
荷さばき作業の騒音対策	・荷さばき作業車両のアイドリングを禁止させるなど（但し、停止することができない保冷車のアイドリングは除く）、作業員への騒音防止の意識を徹底させる。

(2) BGM等の営業宣伝活動の予定

BGM等の使用
(無)・有



使用時間帯	拡声器の数	拡声器の容量	拡声器の配置	具体的な騒音対策の内容
—	—	—	—	—

(3) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・騒音レベル等

No.	項 目		設置の有 無	規模・能力	騒音レベル (dB)	騒音対策等
	種 類	形 式				
1	室外機1	RZRP80BDT	有	圧縮機出力 1.70kW	50.8	・低騒音化型の機器を導入する。 ・定期的に保守点検を実施し、故障等による異音の発生を防止する。
2	室外機2	RZRP112BD	有	圧縮機出力1.95kW	52.2	
3	室外機3	R40XEP	有	圧縮機出力1.10kW	51.8	
4	室外機4	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
5	室外機5	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
6	室外機6	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
7	室外機7	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
8	室外機8	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
9	室外機9	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
10	室外機10	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
11	室外機11	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
12	室外機12	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
13	室外機13	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
14	室外機14	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
15	室外機15	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
16	室外機16	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
17	室外機17	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
18	室外機18	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
19	室外機19	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
20	室外機20	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
21	室外機21	RZZP140BD	有	圧縮機出力2.45kW	55.0	
22	冷凍冷蔵庫屋外機	ECOV-D55WA	有	圧縮機出力 (5.4+5.6) kW	56.1	
23	冷凍冷蔵庫屋外機	ECOV-D55WA	有	圧縮機出力 (5.4+5.6) kW	56.1	
24	冷凍冷蔵庫屋外機	ECOV-D37WA	有	圧縮機出力 (4.0+3.9) kW	59.2	
25	冷凍冷蔵庫屋外機	ECOV-D37WA	有	圧縮機出力 (4.0+3.9) kW	59.2	
26	冷凍冷蔵庫屋外機	ECOV-D22WA	有	圧縮機出力 (2.2+2.1) kW	53.7	
27	冷凍冷蔵庫屋外機	ECOV-D22WA	有	圧縮機出力 (2.2+2.1) kW	53.7	
28	排気口1	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
29	排気口2	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
30	排気口3	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
31	排気口4	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	

No.	項 目		設置の 有 無	規模・能力	騒音レベル (dB)	騒音対策等
	種 類	形 式				
32	排気口5	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	・大きな騒音がでない形状を選択する。
33	排気口6	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
34	排気口7	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
35	排気口8	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
36	排気口9	EFG-30SB2	有	出力0.05kW	46.9	
37	排気口10	EFG-30SB2	有	出力0.05kW	46.9	
38	排気口11	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
39	排気口12	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
40	排気口13	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
41	排気口14	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
42	排気口15	VD-25ZVX6-FP	有	—	44.0	
43	排気口16	VD-25ZX13-FP	有	—	45.0	
44	キュービクル	キュービクルa	有	—	50.5	無

(4) 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

駐車場No.	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	・特になし。	・オープン時や繁忙期など混雑が見込まれる際には、交通整理員を配置して場内走行の円滑化を図り、渋滞による騒音の発生を抑制する。 ・駐車場内には徐行運転（10km/h以下）やアイドリング禁止の旨を記載した看板を設置することで、来客者に注意を呼びかける。

(5) 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

廃棄物回収場所の構造	回収時間帯	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
廃棄物等保管施設 (ブロック造)	8:00～18:00	・特になし	・早朝、夜間には回収を行わない。 ・ゴミの排出量を減らし、収集時間を短縮できるよう努める。 ・業者には騒音抑制の意識を徹底させるとともに、エンジンの空ぶかしは行わないよう協力を要請する。